

## その4

# 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

実施日：平成22年10月20日 参加者：小学校中学年児童43名 保護者23名

## ① ねらい

人権が尊重され、子どもたちが楽しく、自分らしく生活できる素敵な学校であるために必要なことを話し合い、個人やPTAとしてできそうなことを考える。

## ② 学習プログラムの流れ

<実施時間：50分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ねらい、進め方の説明をする。	ホワイトボード マジック
展開1	10	2. 素材をもとに、個人でランキングをする。	話の素材カード版 ワークシート
	7	3. 個人の考えを持ち寄って、グループとしてのランキングを考え、1番にランクされたことを人権のかけ橋の中心に記入する。 (ワークシートにカードを並べる作業を通してランキング)	
展開2	8	4. 3でランキング1位に選んだような輝く学校であるために必要なことをグループで考える。 (付箋に書いて模造紙に貼る。)	付箋 模造紙 マジック
	10	5. グループで出てきた意見を関連するものでまとめ、「自分たちがすること」をまとめワークシート「人権のかけ橋」に記入する。 (「おうちの人へのお願い」「学校・地域へのお願い」については、意見ができれば記入する)	資料1 人権のかけ橋
	5	6. グループごとに模造紙にまとめたものを掲示し、みんなで見回ることによって他のグループの考えを知る。	セロハンテープ
まとめ	5	7. まとめ (価値付け…研修のねらいと発表された意見をつなぎ、実践への意欲付けをする)	

ファシリテーター：学校教員

## ③ 実践してみて(次の方へのアドバイス)

- 50分で実施しましたが、90分程度の時間で実施すると、話し合いと作業がより深まりのあるものになると思います。
- 子どもにも分かるようにファシリテーターが説明することが大切です。
- 「人権のかけ橋」のワークシートは、グループに1枚でもよいようです。「人権のかけ橋」への記入と模造紙への記入がありますが、設定時間に合わせてどちらか一方にしてもよいと思います。
- 作業に意識が向いてしまわないよう、話し合いの時間を大切にしましょう。
- 保護者同士、児童同士でグループをつくりましたが、お互いが理解し合えるような場面の工夫があると一層深まりのある学習をなると思います。

実践してみましたコーナー その④ 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

## 4 参 考

3 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

話の素材 (学習資料)

素敵な学校であるためには、  
どれが大事？

<b>施設・設備</b> 設備が充実し、近代的な設備・環境が整った学校	<b>体験・行事</b> 子どもの体験を重視した行事を盛り上げる学校	<b>地域に開く</b> 地域の人材活用と、地域との交流が盛んで、地域に開きや連携が図られる学校
<b>授業</b> わかりやすく、楽しい授業の提供、学力をつける授業を行う学校	<b>規律</b> 規律や規則が守られ、善悪の区別ができる子どもを育てる学校	<b>部活動・課外活動</b> 部活動などに積極的に取り組む学校
<b>人間関係</b> 先生や子ども同士の人間関係に配慮した学校	<b>安心・安全</b> 安全が守られ、安心して生活できる学校	<b>感性・思いやり</b> 感性豊かな子ども、思いやりにあふれた学校
		<b>自己実現</b> 一人一人の良さが認められ、のびのびと生活できる学校


ワークシート

◆大事だと思うものから順番に  
べましよう

①

②

③



資料

資料1 人権のかけ橋のワークシート


学校では

大事にしたいこと

PTAでは

地域・家庭では

人権のかけ橋




どんな学校にしたいかランキング



実践してみましたコーナー

その④一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

## その5

# 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

実施日：平成22年10月20日 参加者：小学校高学年児童52名 保護者21名

## ① ねらい

人権が尊重され、子どもたちが楽しく、自分らしく生活できる素敵な学校であるために必要なことを話し合い、個人やPTAとしてできそうなことを考える。

## ② 学習プログラムの流れ

<実施時間：50分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ねらい、進め方の説明をする。	ホワイトボード マジック
展開1	10	2. 素材をもとに、個人でランキングをする。	話の素材カード版 ワークシート
	7	3. 個人の考えを持ち寄って、グループとしてのランキングを考え、1番にランクされたことを人権のかけ橋の中央に記入する。	
	8	4. 3でランキング1位に選んだような輝く学校であるために必要なことをグループで考える。 (付箋に書いて模造紙に貼る。)	付箋 模造紙 マジック
展開2	10	5. グループで出てきた意見を関連するものでまとめ、「自分たちがすること」「おうちの人へのお願い」「学校・地域へのお願い」を「人権のかけ橋」に記入する。	資料1 人権のかけ橋
	5	6. 各グループごとに模造紙にまとめたものをもとに代表が説明をする。	セロハンテープ
まとめ	5	7. まとめ(価値付け…研修のねらいと発表された意見をつなぎ、実践への意欲付けをする)	

ファシリテーター：学校教員

## ③ 実践してみて(次の方へのアドバイス)

- 50分で実施しましたが、学習を深めるために、90分程度の時間設定ができるといいです。
- 付箋に書いて模造紙に貼りまとめる作業と、「人権のかけ橋」に記入する作業のねらいをはっきりさせ、参加者に具体的に説明することが大切です。また、作業が中心にならないよう、話し合いの時間を確保するようにしましょう。

実践してみました「コーナー」その⑤一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

## 4 参 考

一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

話の素材(学習資料)

<b>施設・設備</b> 冷房完備で、近代的な設備・環境が整った学校	<b>体験・行事</b> 子どもの体験を重視し、た行事を盛り上げる学校	<b>地域に開く</b> 地域の人材活用など、地域との交流が盛んで、積極的に地域が活用される学校
<b>授業</b> わかりやすく、楽しい授業の提供、学力をつける授業を行う学校	<b>規律</b> 規律や規則が守られ、義務の感銘がでる子どもを育てる学校	<b>部活動・課外活動</b> 部活動などに積極的に取り組む学校
<b>人間関係</b> 先生や子ども同士の間関係が配慮した学校	<b>安心・安全</b> 安全が守られ、安心して生活できる学校	<b>感性・思いやり</b> 感性豊かな子ども、思いやりにあふれた学校
		<b>自己実現</b> 一人一人の良さが認められ、のびのびと生活できる学校

素敵な学校であるためには、  
どれが大事？

資料

資料1 人権のかけ橋のワークシート

学校では

大事にしたいこと

PTAでは

地域・家庭では

人権のかけ橋

ワークシート

◆大事だと思うものから順番に並べましょう

①

②  ②

③  ③  ③

④  ④

⑤  ⑤

◆そう思った理由

◆グループでの話し合いの結果

①

——メモ(グループの主な意見、自分の考え、等)



実践してみました！その⑤一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？



輝く学校にするためにできることは？



グループによる話し合い

## ① ねらい

「あいさつ」を通して、①子どもの安全を守ること、②親子や地域の方とより良い人間関係をつくること、③子ども自身が自分は大切にされていてかけがえのない存在であることといった観点で話し合うことを通して、お互いが大切にされていると感じられる地域づくりのためにPTAとしてできることを考える。

## ② 学習プログラムの流れ

<実施時間：60分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
導 入	5	1. 学習プログラム名と意図の説明。 ・あいさつと人権について学習すること。 ・話し合いのルールの確認 （参加、傾聴、時間、守秘の確認） 2. アイスブレイキング ・歩きながら笛の合図で2人組になる。 ・2人組で簡単なゲームをする。 ・歩きながら笛の合図で4人組になる。 ・座って簡単な自己紹介をする。 ・司会者、発表者を決める。	ホワイトボード マグネット ルールの短冊 笛
展開1	10	3. 「話の素材」を読んで、感想を話し合う。 ・子どもの対応の違いなどについて、自分自身のエピソードや地域での様子を織り交ぜながら話し合う。 ・2、3のグループが、出た意見を発表する。	話の素材
展開2	10	4. あいさつや声かけが子どもにとってどんな良さがあるか話し合う。 ・2、3のグループが出た意見を発表する。 ・出てきた意見を、人権と関わる安心・安全、人間関係、自尊感情などにまとめ、次の話し合いにつなぐ。	ワークシート ホワイトボード
展開3	15	5. 子どもたちにとってのあいさつや声かけをさらによいものにしていくために、PTAや家庭で取り組めることを話し合う。 ・展開2でまとめた人権の視点を中心に話し合う。 ・グループで出た意見の中で、自分のグループで特に取り組んでみたいものを1つ決める。	ワークシート
展開4	15	6. 話し合いで出た意見や気づいたことについて発表する。 ・お薦めの取組を発表する。	
まとめ	5	7. ファシリテーターが「学習のポイント」をもとに感想を話す。 ・日頃何気なく行っているあいさつが、いろいろな人権の視点につながっていること。 ・資料を配りポイントになるところを1、2話す。 ・グループで一緒になった人と握手をしてあいさつする。	ホワイトボード 資料1～2 （持ち帰り資料）

ファシリテーター：県教育委員会事務局職員

実践してみました！コーナー その⑥ あいさつで人権尊重のまちづくり？！



### ③ 実践してみても(次の方へのアドバイス)

- 60分で実施しましたが、グループ討議を深めるためには、もう少し時間に余裕があるといいようです。
- 「あいさつ」は、誰もが話しやすく行動化に向けて具体的な話につなげやすいテーマです。留意する点として、「あいさつ」と「権利」との関係をしっかり結びつけ、「あいさつ運動」の見直しのための協議にならないよう人権の視点をもって話し合いが行われるようにすることが大切です。
- 話し合いが「あいさつ」についての一般的な話にならないよう、家庭や地域の課題を明確にしたうえで、今後の具体的な取組に話が発展することが大切です。

### ④ 参考資料

**4 あいさつで人権尊重のまちづくり?!**

話の素材(学習資料)

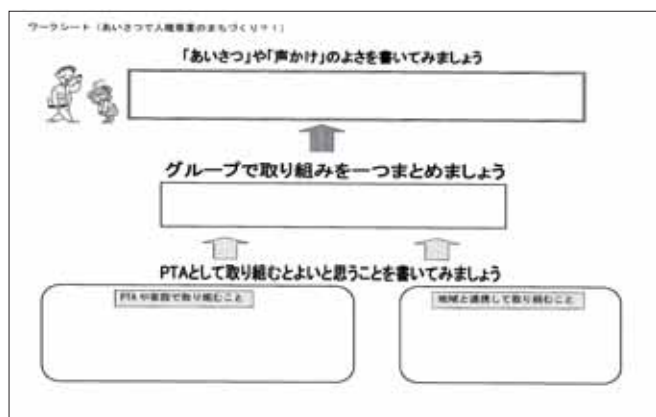
あいさつ運動  
○○市PTA

1 地球のみなさんも、子どもへの声かけをお願いします。

2 ーおじちゃん、おじちゃん、おじちゃん、頼に来てくれたの、ありがとう。ー ○○ちゃん、おかえり。先週の学習発表会、がんばってたね。

3 おかえり。 ーただいま、ー

4 不審者に間違われた?・・・ あいさつ運動に協力しようと思っただけなのになあ・・・



進行用ホワイトボード



アイスプレーキング資料